第8回定時総会

〈今月の紙面〉

協会・連盟総会での主催者挨拶(要旨) (2 「食料・農業 知っておきたい話」-86- (3 18年 農作業中の熱中症死亡者過去最多(4 秋冬キャベツ ヘアリーベッチ緑肥栽培法 (2面) (3面) (4面) (5面) 乳用育成牛 配合3割代替、飼料費約1 粉砕籾米・トウフ粕サイレージ給与 送風こまめに 湿気・熱のこもり防ぐ ゼンカイミート㈱工場直売再開 (6面)

さらに今年度は、新型コ

め一括上程され、

発 行 所

公益社団法人全国開拓振興協会 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 $TEL\ 03{-}3586{-}5843$ FAX 03-3586-5846

-ムページ http://www.kaitakusya.or.jp 全日本開拓者連盟・全開連・全国開拓振興協会共同編集

全国開拓振興協会は6 役員陣で開拓営農 影響で牛枝肉価格が低下 ロナウイルス感染拡大の 林正己監事の監査報告を 俊専務理事の議案説明、 の発展支

第8回定時総会を開

振興協会

再

監事会を開き、会長・専 役員らは別室で理事会・

ここで暫時休会し、

新

が要請項目符

統一へ意見集 ク・会員代表

大のためのPR活動並び

に輸出拡大等に係る予算

産物の消費拡大や販路拡

に、ブロッ

約を図った。

その後連盟

盟は、会議結

措置―を緊急要請。

果を基に、

要請書「新型

21年度に向けては、①

コロナウイルス感染拡大

に係る畜産

経営対策の緊

の持続的発展に資するこ の供給を図ることが、 ととしてきた」と述べた。 着実に実施し、開拓農家 開拓営農振興事業などを る」として、「当協会は、 層重要な課題となってい 費者に安心・安全な食料 的発展により、国民・消 長は、「開拓営農の持続 で第8回定時総会を開催 月12日、 会堂ビル石垣記念ホール 開会挨拶で西谷悟郎会 東京・赤坂の三 まず、 行う開拓者に対して、出 附属明細書、貸借対照表、 議案=19年度事業報告の 正味財産増減計算書等の 度事業報告の件と第1号 長となり、議事に入った。 創設するとした。 交付する緊急支援事業を 承認の件は関連があるた 荷頭数に応じて助成金を しており、肥育牛経営を (挨拶要旨) 続いて、西谷会長が議 報告事項①=19年 (2面

2号議案=役員の報酬及 見込みの件の2事項、第 受けて、報告事項は了承 件、報告事項③=資金調 原案どおり承認、決定し は了承され、 部改正の件等の4議案が び費用に関する規程の 達及び重要な設備投資の 年度事業計画及び予算の 括上程され、報告事項 次に、報告事項②=19 議案は賛成多数で

議案は賛成 理事に選任された。 納広氏(学識経験者) 代表理事理事長)、 理事理事長)、井上富男 海道チクレン農協連代表 新たに、伊藤重敏氏(北 名簿のとおり決定した。 氏(佐賀県開拓畜産事協

了に伴い、理事8名選任 多数で原案どおり決定し 次いで、役員の任期満

の件、監事3名選任の件 行い、賛成多数で候補者 れ、候補者ごとに決議を の2議案が一括上程さ 11 // 11

監事 " // 村 上 平木 圷 幸一 勇 進

開した。

酪農政策要請運動を展 6月11・12日、畜産・

北海道、東北、関東、中

九州の各ブロ

負担金納付品

補てん率の引き上げと国 び豚マルキンのさらなる

の負担割合の引き上げを

③畜産経営

資金の柔軟

な対応、④畜 維持に必要な 免除の継続、

要請している。

せ会議」を開催 (写真)。 策並びに予算要請打合わ

足分を補うための補完マ

ルキンの新設、②生産者

関しては、

①マルキン不 ナ感染拡大に

として挙げている。

①では、牛マルキン及

新型コロー

と早期実現―を重点事項

組織決定。 同日の中央

翌12日、農水

の拡充・強化、⑤震災復

興関連対策の拡充・強化

常任委員会で 請」をまとめ、 策並びに予算

省に提出し

た。

// // 村松俊昭 些 (全国) (全国)

(実務精通者) 拶。

退任の挨拶を行い、閉会 続いて島田前専務が

再開された総会では、 務理事の互選を行った。 会の結果を次のとおり発 任された西谷会長が互選 会長 西谷悟郎 理事 専務 伊藤重敏 松本納広 (中部・関西) (学経)

野原修一(東北) (北海道)

鈴木幸隆 井上富男(九州) (関東)

全日本開拓者連盟は

(全国)

(全国)

11日、三会堂ビルで

された。

おり決定した。新たに、 いず た。 員長 氏果 任委員による互選の結 委員長 総会終了後の新中央常 (栃木県間 新委員 が選 仕された。 開拓者連盟委 長に菊地文夫 択し、閉会し

菊地 文夫(関東)

悟郎 (中央) 辰男 (九州) 度運動方針によると、引 定化運動」などの農政運 内畜産酪農経営の維持安 策拡充・強化運動」「国 ることを基本に、「新型 き続き国内農畜産業を守 内農畜産業の生産基盤対 に伴う影響緩和運動」「国 コロナウイルス感染拡大 (菊地委員長は欠席) 総会で承認された20年

21年度畜産·酪農政 ックでとりまとめた政策 予算等要請事項を基

」などとした るため、運動 夢を持てる農

(中部・関西)

田 中 喬

り決定。第6号議案は任 をそれぞれ候補者名簿ど で、中央常任委員、監事 れも挙手多数で原案どお 案は一括上程され、 年度運動方針について、 期満了に伴う役員の選任 予算について―等の4議 第3号議案=20年度収支 次に、第2号議案=20 宣言案を採り 業を構築する を展開する 担う若者が

木副委員長が挨拶した。

新役員を代表して、平 圷 幸一(東北)

委員長に菊

地

氏選

通常総会

20 年

·度運動

方針を決定

副委員長 中央常任委員 平木 勇 (中央)

新津賀庸(北海道) 正雄(東北)

ご希 本紙 望の方はお知らせ下さい。 は無償で提供しています。

谷会長、 新役員陣を代表して西

松本新専務が挨



感染拡大による経済低迷

となり、

議事録署名人に

れ、新型コロナウイルス

露後、平嶋委員長が議長

農畜産業は前例のない厳 の追い打ちを受け、国内

開拓振興協会理事長)と

野原修一氏(岩手県

い局面を迎えており、

西谷悟郎氏

(三瓶開拓酪

牛肥育事業農協代表理事

藤原辰男氏(宮崎県乳用

組合長)が中央常任委員

林監事(伊藤・井上理事、圷・村松監事は欠席) 野原・鈴木理事、 写真①=全国開拓振興協会新役員陣。 右から平木 同省=全日本開拓者連盟第75回通常総会 、松本専務、西谷会長、 村上理事、 闘おう」と呼びかけた。 化を推進するため、共に 体からのメッセージを披 続いて、政党・友誼団

の監査報告を受けて、

の議案説明、田中喬監事

小原澤悦雄事務局長

専業農家集団である開拓

の朗読による「連盟は、 取県開拓者連盟委員長)

11

動を展開する。

手多数で原案どおり承認

送ることができ、

が安全で豊かな食生活を

農家の代表として、

層

地に根ざした健全な農業

経営の確立と地域の活性

認について一が上程さ

年度運動報告及び決算承

全国の開拓者が、その土 得ない」として、

我々

選任して、議事に移った。 農協代表理事組合長)を

に選任された。

その後、田中喬氏

急

出

まず、第1号議案=19

強い危機感を抱かざるを

畜産経営対策を緊急要請 連盟会員代表が意見集約

急要請」と同「21年度畜

産・酪農政

拡充・強化、③国際貿易 充・強化、②補助事業の 安定対策と生産基盤の拡 国内畜産・酪農業の経営

交渉に係る対応、④環境

衛生対策等関連諸対策

に関する要素

の厳しい状況の中にあっ

まいりました。

国内の課題、

、国際情勢

(2)

は極めて深刻な状況にな 影響による牛肉の枝肉価 っています。 家や和牛繁殖農家の影響 格や和牛の子牛価格の下 洛により、肥育牛経営農 新型コロナウイルスの

るとともに、開拓営農の 開拓農家の交流を促進す い立地条件の下で意欲的 持続的発展により、国民 に営農に取り組んでいる て、中山間地域など厳し 殖豚の導入などを行った や肥育向け初生牛及び繁 ては、乳用牛の自家生産 盤強化事業」につきまし 開拓畜産· 酪農生産基

情

西谷鸞会長の総会挨拶 振興事業などを着実に実 は、協会の運営の簡素化・ 発展に資することとして 果を考慮して、開拓営農 合理化を徹底するととも が、一層重要な課題とな 食料の供給を図ること 施し、開拓農家の持続的 た事業の実施状況及び成 に、これまで実施してき 消費者に安心・安全な 当協会といたしまして ます。 昨日の理事会で、新型コ を執行したところであり 緊急支援事業を創設した 家に対して、出荷頭数に り 過し、総額4億3千万円 し、3年間で当初想定し 開拓農家に対して助成 ところであります。 応じて助成金を交付する ロナウイルスの影響によ ていた事業費を1億円超 新たに開拓肥育牛経営農 各事業を円滑に実施 さらには、今年度は、 事業計画を変更し、

目の見通しを発表した。

Jミルクは5月27日、

(千トン)

脱脂粉乳・

35 144.0%

10 100.0%

78. 4% 34 197. 0%

前年比

また、最終年度となる 実施することとします。 連携をとりながら事業を ためには、会員及び関係 取り進めていく必要があ 機関、団体の協力の下に 本年度も一層緊密な 所期の成果を上げる 2020度上期の都府県の需給

飲用等向処理量

В

271 95.0%

284

前年比

92.6%

313 101.2%

生乳供給量

285 99.4%

271

4月

5月

6月

前年比

99.7%

292 100. 4%

平嶋豐委員長 の総会挨拶

開

国際貿易協定は既に発

実に継続できるよう求め

拓

抱かざるを得ません。 えており、強い危機感を 国内農畜産業は前例のな ルス感染拡大による経済 効され、新型コロナウイ い重大な厳しい局面を迎 低迷の追い打ちを受け、 国内農畜産業を守るた 情勢を踏まえ、国に対 ります。 当に守れるのか、極めて 材の高騰等、依然として ず、不透明感を増してお 経営不安は払しょくされ おります。慢性的生産資 重大な局面に立たされて てまいります。 今後国内農畜産業を本

めさらなる対応を要請 し、これからの営農が確 向け、組織をあげてこの 可能な持続的経営安定に ばなりません。 問題に取り組んで行かね 我々全国の開拓者が、 国内農畜産業の再生産 よう、節にお願い申し上 取り組んでいただきます

りませんか。 の活性化を推進するた な農業経営の確立と地域 め、ともに闘おうではあ

産

者に奨励

金

円を上限に支援する。農

頭を交付する。

このほか、第1次補正

下回った場合に3万円/ に1万円/頭、57万円を

合わせて最大150万

限50万円)

税込み)を下回った場合

〇〇億円

計画を策定・申請する。 協等の支援を受け、経営

農林漁業者が新型コロ

金(ALIC事業)10

ための資金繰りの対策_ 予算の「経営維持・再建の

に349億円を積み増

▽肉用子牛生産の奨励

げると同時に、提案した ますよう、お願い申し上 020年度の運動方針を 議案であります。我が国 問題を分析・検討し、2 は第1号議案から第6号 開拓組織が一丸となって 運動方針の実現に向け、 農業をめぐる諸情勢と諸 で円滑な総会運営ができ 皆様の絶大なるご協力 さて、本日の総会議案 事業108億円}。農業 月に成立した第1次補正 658億円 {うち農畜産 ウイルスの感染拡大によ が6月12日、参議院本会 予算に続き、新型コロナ 議で可決、成立した。4 業振興機構(ALIC) 20年度第2次補正予算 農林水産関係の総額は 肉 用子牛; 第2次補正予算農水铴億円

止対策を行いつつ、販路 ナウイルスの感染拡大防

回復・開拓や事業継続の

Jミルク見通し 夏場 20年度1.4 の需給ひ つ追 か

品の需給について、2回 20年度の生乳・牛乳乳製 口 全国の生乳生産量は、前 ・1
ば下方修正したもの (1月) 予測値より0 の746万3千ヶと、2 年連続の増産を見込ん

7月	262	97. 7%	320	107.4%	5	83.0%	-62	66	134. 4%	4	27.8%	
8月	253	99. 9%	308	106.6%	5	86.0%	-60	64	120. 5%	4	33. 8%	Q
9月	249	99. 5%	307	101.3%	5	88.6%	-62	66	107. 0%	4	91.6%	草
第 1 四半期	847	99. 8%	869	96. 3%	14	81.7%	-35	114	93. 6%	79	153.0%	年度比
第2 四半期	764	99. 0%	934	105. 1%	14	85. 8%	-184	196	119. 6%	12	39. 3%	$\frac{1}{4}$
上期	1, 612	99. 4%	1, 803	100.6%	28	83.7%	-219	310	108. 5%	91	110.8%	4 % 增
一 今回は、新型 幅が縮小する見	となり、生	た都府県も下半	これまで配年同月を	の増加に	見通 ノ。 比毎首	%減の324万	• 2%增	みると、北海道	乳生産量		夏場の需給はひの大幅な需要増	学校給食用牛

等向・チ-

C 前年比

5 78.6%

5 79.6%

5 87.6%

ズ向

(見通し)

(道外移出量

31

3

-46

、乳飲料) 加工乳、

万少と見通している

必要」と指摘している。 り組みを推進することが

ら、年間の枠数量を維持

で欠品がみられることか

する。 脱脂粉乳の4~5

半期計で8・5%増の31 加する可能性が高く、上

> 農乳業による 産基盤の継続

る連携した取 続強化へ、酪 ことから、「生

増えている。一部の店頭 家庭用の消費量が大幅に

前年比

89.7%

107.1%

だ。しかし、7~8月の 乳 (学乳) ひつ迫する 増により、 牛乳等生産量のうち、

の基調が引き続きひっ迫

だった。

バターは、外出自粛で

Jミルクは、生乳需給

脱脂粉乳は114・9%

傾向にある

える見通し。

万6400

ゾと大幅に増 ・5%増の3 8200², **庫量は15・2**

月のバターの生産量は前

年同期比131・6%、

大している。20年3~4 及び脱脂粉乳の生産が増

バターも33

今回は、 新型コロナウ 学してい 遥し。 量の減少 回る見込 6り、通年 は乳用牛 イギッの ば0・9 422万 は前年度 地域別に 期には増 に基づいて7~8月に学 飲食店の休業で5・3% コロナウイルスの影響 牛乳類(牛乳、 半期は学校給食の休止や の見通し。うち牛乳は0 は前年同期比1・6%増 減、第2四半期は、前提 で、例年にない需給の変 成分調整牛乳、 化となっている。第1四 1%減の見込み。新型

第2波は発生しない、小 2週間程度に短縮される 中学校の夏休みは8月の 提として、新型コロナの 見通しとなっている。前 ―等と条件設定してい 乳生産量以外は上半期 すことが困難なため、 影響で需給の変化を見通 イルスの感染拡大による (4~9月) に限定した の移入量(道外移出量) 摘。北海道から都府県へ 2四半期は、生乳の需給 見込んでいる。 る見通し。はっ酵乳は、 乳の大幅増が推測され、 状況となる可能性を指 がひっ迫し、過去にない は、7月以降、大幅に増 上半期計で9・3%増を 転して5・1%増とな 飲用の需要期である第

脂粉乳の在

積み上がり、 は、第1四

9月末の脱

業務用の需要減退に伴 の休止や生クリーム等の 感染拡大による学校給食

い、保存性の高いバター

半期に在庫が **需給について**

%増の7万

の輸入枠数量の検証結果 月に決定した輸入枠数量 ターと脱脂粉乳の20年度 を発表した。バターは1 農水省は5月27日、バ 年度脱粉輸入枠削 バター枠は変更せず 2万%を変更しないが、 する。 幅に削減し、 脱脂粉乳は4千ヶから大 新型コロ 減 ナウイルスの 750~と 農水省

50少のみとする。

日米貿易協定に基づく7

から3千ヶ強引き下げ、 まれる。4千少の枠数量 比3千少強増えると見込 月の生産量は、前年同期

う。

え、9月末に再検証を行

今後の需給状況を踏ま

荷する取り組みの支援を 80万円、果樹25万円) 付単価を引き上げる(10 交付金」は、施設園芸の交 たり2200円)。 追加する(1人・1日当 品質なものを厳選して出 さらに、花き・茶等の高 当たり5万円→花き等 「高収益作物次期作支援 となった。 状況 (2月 心に7割超 としたのは、 べると、「 が懸念される。 傾向にある中、需給緩和

物等の作付け意向につい 年産の主食用米、戦略作 て、第2回中間的取り組 農水省は5月27日、 20 み状況(20年4月末現在) 作付け意向を19年産実績 を発表した。主食用米の に比べて「前年並み傾向」

> 第1回中間的取り組み 末現在)と比 需要量が減少 の35都道府県 主産地を中 一方、戦略作物の作付

た。ただし、 前年並み傾向 北、新潟など 傾向」は前回 から6県減っ が見込まれ 全体として 組むことが重要」として 積になると、需給緩和が いる。前年並みの作付面 を717万少と見通して 用米の生産量726万% た生産・販売に一層取り 懸念され、「需要に応じ に対し、20年産の需要量 同省は、19年産の主食

減少傾向」が えている。 じた県が多い。加工用米 9道県から16道県へと増 ら20道県、WCS用稲で で減少傾向が6県から17 け意向は、減少傾向に転 飼料用米で10道県か

た。「増加原 る」として は前年並み 6府県から12府県へと増 で、同省は の主産地は 同様なかった え、「前年並み傾向」は 北海道、東 41都道府県 いる。

主食用 需給緩和 20年産米の作付け意向 の懸念

うち2つ以上を行う生産 者に対して、販売頭数に 和種では、60万円(消費 動基準は2段階で、黒毛 応じた奨励金を交付。発

その土地に根ざした健全

げます。

の経営継続のための措置

ど生産・販売方式の転換

①省力化機械の導入な

止など4つのメニューの

環境改善、子牛の疾病防

に必要な経費(補助率3

を支援。

どに取り組む場合の経費 ための機械・設備導入な

を下回った場合、畜舎の

格(月別)が一定の水準

補正の運用改善として、 し、強化する。また、1次

肉用子牛の全国平均価

(新規事項)が柱となる。

▽経営継続補助金

2

感染防止対策(定額、

②消毒、換気設備等の (4、上限100万円) ド・プリンセスの20%よ

正当な商品とは認められ

ないのであり、輸入を拒

(3)

当は安いのである。

は当たり前なのである。

会に反転させなくてはな

扱割合の実績(重量ベー

5%。量販店と比べて和 8、乳牛4%)、輸入品

はモモが最

も多かった。

臨時総会

量販店における食肉取

ついてはいけない。この 安いと言ってそれに飛び 否すべき対象といえる。 情

拓

開

安全性を犠牲にしてコス

トを下げる効果がある

もう一つ露呈したのが食 が、米国などの食肉には、

で不当にコストを切り詰

食料・農業 知っておきたい話

ロナ・ショックで露呈した食肉問題

東京大学教授

安いものにはワケ 肉の安さの秘密 がある~米国産食 り高い)ことが報道され、 ある。米国産食肉への依 殺到しているとの報道も 米国の消費者が肉を求め

ショックで露呈した。安 る。食肉生産の肥育にお う一つの秘密がコロナ・ ける成長ホルモン投与も いものには必ずワケがあ 米国産食肉の安さのも 意しないといけない。 労働や環境コスト 存度の高い日本への供給 を負担しないのは も影響が出ることに留

ら、低賃金・長時間労働 不当な安さ 食肉加工場の集団感染か さらに重要なことは、

いる(https://hbol.jp, 子さんが詳細に報告して の強要が新型肺炎の集団 境だ。米国などの食肉加 府が放置したダイヤモン 染した(感染率は日本政 500人が新型肺炎に感 000人の作業員のうち オア州の食肉加工場で2 CNNニュースでもアイ 肉加工場の劣悪な労働環 での低賃金・長時間労働 工場での劣悪な労働環境 アジア太平洋資料センタ 感染につながったことを 米国時間で5月6日の (PARC) の内田聖 させた。本来、負担すべ たことだ。米国などの食 ジカル・ダンピングとも ストを不当に切り詰める 出競争力を高めるエコロ 担せずに安くした商品は コロナ・ショックが露呈 ていることも、図らずも いえる実態が炙り出され トを不当に切り詰めて輸 めた環境に配慮するコス めて輸出競争力を高める き労働や環境コストを負 肉の安さは労働や環境コ ことによってもたらされ ノーシャル・ダンピング 、衛生面・安全面も含

学肥料を大量に使うな 全保障」を明記し、輸入 新憲法において「食料安 ど、環境への配慮が低く 同通信アグリラボ所長)。 能性への配慮をチェック を規定した(石井勇人共 の輸入を制限する方向性 労働条件が劣悪な国から 相手国に対しても持続可 スイスは2017年の を「炎上」させてしまっ た。全国民が大変なとき ローズアップされ、世論 う極めて残念なことにな か救いたい思いが、大き だ。苦しむ農業界を何と 権で結びついた族議員と 野だけの消費にしか使え に贅沢品に近い特定の分 ってしまった。 な非難の的にされるとい 業界の横暴だという非難 ない商品券を出すとは利

> らが入植し、荒漠たる原 国東北部)からの引揚者

物故者の慰霊供養のた

慰霊塔の

刻まれている(写真上)。

なった。

群馬満蒙拓魂之塔」と 慰霊塔はレンガ造りで

で1680

余名が犠牲に 戦による混乱 80余名。45

度な食糧事情の不良のな

碑文には、「戦後の極

かにあって

酷寒とたび

年8月、敗

合わせ87

った。

開拓団と青少年義勇団を

立時の農家戸数は41戸だ

年に水道完成。記念碑建

開拓地に、満州(現・中

浅間山の東北麓の6

防波堤にしていく必要が の明確化を、安全・安心 う。関税削減を強いられ 受け入れない、という明 る中で、そうしたルール 交渉で主張すべきであろ 日本が輸入する食料に対 な国産食料を守る一つの 確な基準を設定し、貿易 に安く供給されるものは して、持続可能性に配慮 しないことによって不当 日本もスイスに学び、 う。努力が水の泡だ。 う誤解を増幅してしま たが、これでは、やはり る意図的な農業悪玉論に どの利益を増やそうとす 農水産業は利権で過保護 データ発信に尽力してき に守られているのだとい 誤解を解こうと客観的な 苦しめられ、我々はその 業を生贄にして自動車な 長年、日本の農家は農 過保護どころか、農林

クは追い打ち 〜コロナ・ショッ 和牛商品券の波紋

たが、それが報道される ナ・ショックによる外食 て「和牛券」が提案され め、経済対策の一環とし 在庫が積み上がったた 需要などの激減で和牛の 方、国内では、コロ

鈴木宣弘氏 り、そこにコロナ禍が上 うした打撃が積み重な 倍になるなど、輸入牛肉 乗せされたことを忘れて が押しやられている。コ の想定以上の増加で国産 る貿易自由化とで、いま ロナ禍の影響の前に、こ からの牛肉輸入が1・5 するや、1月だけで米国 日本の農林水産業界は苦 成立し、かたや畳みかけ 漁家からビジネスを引き しめられている。直近で 剥がす法律が立て続けに は、日米貿易協定が発効

米国でも農業予算の64% 与えたら、国民理解醸成 効な手段だ。だが、この 生産者も支援するのは有 している。生産・消費の 価格低下時の農家への差 援に使っている。米国は も食品購入カードの支給 が優遇されている誤解を タイミングで、特定分野 はならない。 額補てんシステムも充実 に完全に逆効果である。 で一定所得以下の食費支 消費者を支援する形で

を日本農業過保護 論の誤解を解く機 コロナ・ショック 得になっている)。日本 金でまかなわれているの て保護されていない。 は諸外国に比べたら極め 所得のほとんどが税

やいなや、それだけがク 一助金で支払って残りが所 足りないので、それを補 80%前後にも達する の30%程度が補助金なの に対してフランスでは1 (販売収入が飼料代にも 日本の牛肉農家の所得 全体で支えるのは欧米で 命を守り、環境を守り、 を守っている産業を国民 地域を守り、国土・国境 われるかもしれないが、 が産業といえるか」と思

群馬県吾妻郡長野原町

戦前から、避暑を目的に

南部の北軽井沢地区には

屋原(おおやはら)地区 牧草地が広がる現在の大

立の由来」によると、同

建立された。

裏面の「建

和22)年3月から始まっ (写真下)。入植は47(昭 銘は「大屋原開拓之碑」

た。57年に電気導入、61

に、満州に送り込まれた 「満蒙開拓団」の慰霊塔

県から満州

への移民は、

郡長野原町は人口約5千

地域のほとんどは標

群馬県の北西部、吾妻

野を切り開いた。

レタス・キャベツ畑や

よって74 (昭和49) 年に

開拓関係者に

別荘が建てられた。戦

と開拓記念碑がある。

れている。 乳製品の買い上げも含ま の損失補てんに1・7兆 両面から徹底的に農家を する。政府による食肉や 援に3000億円を拠出 円、困窮者向けの食料支 策を打ち出した。生産者 模の生産者・消費者支援 回も、追加的に2兆円規 支えている。米国は、 今

の主要な小売業者(量販 期)」を公表した。全国 調査結果(20年度上半 月3日、 農畜産業振興機構は6 量販店 「食肉販売動向 19年度下半期食肉取扱実績 和牛3、4等級8

牛肉 鶏

扱割合の実

それが当たり前でないの 民理解醸成の再構築の機 これを農業への正しい国 れ、国民を敵に回したら かるが、過保護と誤解さ 農家。牛肉券の想いはわ 競争しているのが日本の 元も子もない。何とか、 世界的にも最も自力で 合は、前年同期の実績に る。量販店の食肉取扱割 肉及び鶏肉が増えてい 績のみの公表としてい とから、19年度下半期(19 比べ、牛肉は減少し、豚 年10月~20年3月)の実 感染拡大の影響による見 店19、食肉専門店63社) 通しが不明確であったこ の。新型コロナウイルス 等を対象に調査したも ている。 8、交雑牛6、乳牛4 2 浮減少した一方、豚肉 %となった。牛肉が1次 4%、豚肉36%、鶏肉20 増加した。牛肉の実績の が27%、豚肉は43%、 ス、以下同じ)は、 った。牛肉の内訳は、国 | 浮増加し、

豚肉は

同率だ 減少した一方、鶏肉が1 %)、輸入品9%となっ 内訳は、国産18%(和牛 及び鶏肉が1浮それぞれ 同期と比べると、牛肉が 肉は30%となった。前年 産39%(和牛27、交雑牛 食肉専門店では、牛肉

> 店では比較: モが最も多れ

が日本である。

が低い。 牛の等級別取 合が高く、輸 動

52%と最も多く、次いで 17%、2等級が3%とな た。量販店では4等級が %、5等級が 6 月

3等級が28

て、4等級はカタ及びモ 4等級で8割 かった。量販 主な部位とし 回通常総会 回通常総会

った。3、

を占めた。

級、部位を中心に取り扱 っていることがうかがえ 肉専門店では 的低価格な等 26 日 48回通常総会

20日 全開連理事会 29日 開拓ながさき農協 7 月 第11回通常総会 全国開拓振興協会

3等級が10%

%、2等級が

く、次いで4等級が38%、

一方、食

4%となっ

た。主な部位

として、5等級はカタロ

ース、4等級及び3等級

開拓組織の 3

割

人品の割合 今回、和

牛の取扱割の

したもの。碑 を期して建立 に、開拓30年 組合が76年 屋原開拓就農 **嬋がある。大** 内に開拓記念 民館で、敷地 隣は大屋原公

う」と記されている。

こそは 将来ここに生き

の汗と涙の三十年の歴史

ったここの『村づくり』

はげましあって築いてい 害と戦いつつ 助けあい 重なる台風 冷害 凍霜

るものにとって永遠に忘

れてはならぬものであろ

5等級が48%と最も多 績も調査し 25日 佐賀県開拓畜産事 24日 香取開拓農協第73 21日 松山開拓農協第72 予定されている、開拓組 織の行事は次のとおり。 6月から7月にかけて 回通常総会 協第4回通常総会 肥後開拓農協第12 福岡県畜産農協第

期に合わせて注意を呼び

3ヵ月間が実施期間。農

て6月1日~8月31日の

薬を使う機会の増える時

かける。今年の運動のテ

マは「農薬は周りに配

愿し正しく使用」。

農水省はこのほど、「農

マスク着用時、無理厳禁

農作業中の熱中 症死亡者過去最多

開始してから最多だっ 下回る日でも、注意する 夏にも死亡者が出ている が最も発生が多いが、初 た。09~18年は7~8月 いて」の文書を関係行政 ことが重要となる。 ため、最高気温が3℃を 18年は農作業中の熱中症 作業中の熱中症対策につ 機関・団体に発出した。 による死亡者は43人とな (図)、04年に調査を

同率)を占めており、依 死亡者のうち、70代以上 然として高齢者が大多数 の生産者は88%(前年と 作業中の熱中症による

拓

情

2 浮増)が発生しており、 普通畑で全体の73%(約 作業中の対策の徹底が求 場所別にみると、田・

開

タブレットを摂取する。 塩分が入った飲料やスポ めて水分・塩分補給の声 ーツ飲料、塩分補給用の の症状が出ている時に 休憩を挟む。足がつる、 必ずコップ1~2杯分の められる。 上で取り組み、時間を決 は、0・1~0・2%の 筋肉がピクピクするなど 水分を摂り、20分おきに 作業はなるべく2人以 喉が渇いていなくても ◇作業中の注意点 り、作業着などは脱いで する。 手足を出し、体温の低下 涼しい場所で休憩を取 場所では、送風機やスポ 中など熱がこもりやすい ットクーラーなどを活用 ビニールハウスや畜舎の 服などを着用する。また、 用し、吸汗速乾性素材の に努める。 上夫も行う。 ◇マスク着用時の無理 休憩時には日陰などの 屋外では必ず帽子を着

こもりやすい施設内では を良くしたり断熱資材を や温度計、湿度計で作業 をみることも大切。熱が 異常がないか互いに様子 かけを行う。定期的に、 環境を確認する。風通し 暑さ指数 (WBGT) 計 が高くなると注意喚起し すると、熱中症のリスク ク着用が呼びかけられて 湿の環境でマスクを着用 ナウイルスの影響でマス いるが、厚労省は高温多 また、今年は新型コロ

動」が始まる。原則とし 省等と共同で実施する 「20年度農薬危害防止運 農水省が厚労省・環境 活用するなど、施設面の 故が4件(前年は1件)、 用後の管理不良による事 件で前年から4件増加し た。原因別では、農薬使 ている。 防止対策、③誤飲防止の 地などで農薬を使用する 時の周辺への配慮・飛散 ため鍵がかかる場所に保

用後の管 20年度農薬危害防止運動 理適切に

管する、④農薬ラベルの 使用基準の確認―となっ

後の適切な管理、②住宅 被害者は14人と倍増し は、①土壌くん蒸剤使用 今年の重点指導項目 ている。 報誌やポスターなどを用 実施事項として、①広

う人への事故発生は、25

推進する。

意見を取り入れ、

18年度の農薬使用に伴

農作業中の熱中症による死亡者数の推移

15年

をする場合にも、お互い 屋外で2人以上で作業 35 死亡者数(人) 25 服をゆるめて風通しを良 かけたり、うちわであお くする。自力で水が飲め いだりして体を冷やし、 20 15 10 5 0 10年 12年 14年

がある、体調に異変を感 のかかる作業は避ける。 分に取れている場合には の距離(2 以以上)が十 している時には体に負荷 要。また、マスクを着用 マスクを外すことが必 体がだるいなどの症状 ◇異変あれば病院へ 病院で手当てを受ける。 ない場合などは、すぐに

設置市などが連携し、 事故発生時の応急処置な け、②農薬の適正使用・ じた際には、すぐに涼し や地域住民への配慮―な する正しい知識の呼びか いた農薬と取り扱いに関 どの徹底を行う。 い場所に避難する。水を メガネなどの適切な使用 どの知識の普及、③防護 都道府県、保健所

緑茶「普段よく飲む」約7割 **ポット 飲みやすさ重視が強まる**

た、ペットボトルでは「飲 は緑茶が約7割と高い 飲用が増加している。ま が、緑茶以外の日本茶の が対象。それによると、 10~70代の男女1万99人 した。調査対象は全国の 関するアンケート調査_ のほど、「お茶系飲料に (第11回) の結果を公表 一普段よく飲むもの」で マイボイスコム㈱はこ が多く飲まれている。緑 が高かった。なお、緑茶 外の日本茶の飲用が増え 牛乳は37・3%(0・4 は41・6%(4・4 浮増) ほうじ茶、玄米茶など) 茶以外の日本茶(麦茶、 なっている。 は高年代層で高い傾向と ており、特に女性で比率 ペットボトルでお茶系

|0%(0・9浮減)など 0・1 浮減)、緑茶6・ 数回答)」では、コーヒ が増えている。 176・4%(前回調査比 みやすさ」を重視する人 普段よく飲むもの(複 週1日以上でみると、「週 頻度(紅茶以外)」では、 飲料を飲む人は全体で82 に1~2回程度」 なっている。「ペットボ トルのお茶系飲料を飲む 5% (0・3 浮減) と

> た。週3回以 7% (0・2 浮増) だっ 週3~4 以上飲用者は 回程度」8・ る。 では、男性が4割強、女

以上飲用者は全体の4割 と微増してい 21・7% (0・2 浮増) おり、週1回 性が3割弱となってい 茶以外 (複数回答)}」で の「購入時の重視点(紅 飲む人 (8337人)

毎日」3・0%(同率)、 % (0・5 | 浮減) が最も 多く、次いで「ほとんど 野菜ジュース 弱となって 牛乳 いる。男女別 (%) 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 (マイボイスコム(株)の資料を基に作成) 3 浮増)などで高かった。 高く、次いで「価格」46 の合間」27・1%(2・ は、「飲みやすさ」48・3 みがありそう」33・0% 「昼食」が37・9%(1 のどが渇いた時」が42 (同率) となっている。 手軽に飲みやすいペッ (2・5 | 浮増) が最も 「飲用場面(同)」は

普段よく飲む飲み物 ジュース・果汁飲料 中国茶(ウーロン茶、ジャスミン茶 乳飲料・乳酸菌飲料 緑茶以外の日本茶(麦茶 需要が高まっている傾向 トボトルのお茶系飲料の

ヨー グルト「ほぼ毎日」約5割 20代男女理由「おい しい」トップ

2 3 回

る意識調査」の結果を公 と答えたのは男女ともに いしいから・好きだから にのぼり、摂取理由で「お 毎日飲食する人が約5割 ると、ヨーグルトをほぼ に行ったもの。それによ 全国の男女4千人を対象 表した。20~70代以上の ㈱プラネットはこのほ 「ヨーグルトに関す と回答した人の摂取頻度 (3140人) は、「ほぼ ヨーグルトの飲食頻度 ヨーグルトを飲食する

「ほぼ毎日」 47.4%

20.2%

物劇物取り扱い者などの 運動を で食べる人が多い傾向が 年層でヨーグルトを好き 20代が最も高かった。若

4.3%

ほぼ毎日・1日に複数回

1か月に1回

理由(2814人)では、 代が高いほど多い。 食べる人は、男女とも年 た (図)。1日1回以上 ップのため」32・6%の 72・9%で1位、次いで ら」59・4%、「免疫力ア おいしいから・好きだか 体・健康に良いから」が ヨーグルトを飲食する 15・9%だつ 61・5%と最も高く、次 視点(2814人)では、 れぞれ10・7次、4・9 ・6%、「完全固形タイプ」 食べるタイ 22・0%だ いで「ドリンクタイプ」29 「固形(半液) ば、7·0。 では、上位から女性がそ ヨーグル・ ト購入時の重 浮高かった。 った。男女別 状タイプ)」が ブ(全体)は、 27・6%だった。 男女別 %)」が最も高く、次い ば、6・0 | 7高い。 では、上位から女性がそ 29・5%、「朝食として」 で「おやつ・間食として」 は「朝食時・後 (42・8 れぞれ2・6 浮、10・6 ドリンクタイプ (11 飲食するタイミングで 固形 (2461人)

・2%、「ほぼ毎日・1日

毎日・1日に1回」

に複数回」20・2%、

男性が3・1 次、2・3位 きだから」が男女とも20 では、「おいしいから・好 78・2%と最も高かった。 代で男性73・7%、女性 ば、9・8 浮高い。 年代別 は女性がそれぞれ13・6 順。男女別では、1位は ヨーグルトで普段よく では、上位から男性がそ 28・1%だった。 男女別 入り(またはその種類) ・3%、「ビフィズス菌 ば、0・9 れぞれ1・6 浮、2・4 56・2%と最も高く、次 「価格の安さ・お徳感」が いで「乳酸菌の種類」33 溶高かった。 3・8 浮高く、3位は男 性が0・7浮高かった。 性がそれぞれ16・6学、 女別では、1・2位は女 して」22・1%の順。男 後」28・3%、「朝食と 1位、次いで「朝食時・ 間食として」48・4%で 85人) は、「おやつ・

秋田県農業試験場

***** 施肥と組み合わせ可販収量10%増 ヘアリーベッチ緑肥栽培法

緑肥は土づくりや養分補給の効果が あり、堆肥に代わる有機物として利用 されている。

マメ科緑肥「ヘアリーベッチ(以下、 ベッチ)」は、根粒菌が共生し、窒素 を固定するため、窒素肥沃度が向上す る。一方、ベッチが分解され、この窒 素を化学肥料の代替として利用するに は、供給される窒素量の見積もりが不 明であった。秋田県農業試験場は、ベ ッチの窒素供給効果を検証し、秋冬キ ャベツ栽培で化学肥料の30%減肥が可 能なことを明らかにした。

栽培試験を、18~19年にかけて秋田 県内3ヵ所のほ場で行った。各ほ場に 試験区として、堆肥+化学肥料慣行量 の「慣行区」、緑肥+化学肥料30%減の

「減肥区」、堆肥+緑肥+化学肥料慣 行量の「上乗 A 区」、または、緑肥+ 化学肥料慣行量の「上乗 B 区」を設け た。緑肥は、晩生品種のベッチを供試。

ベッチは4月に10a当たり3kg播種 して、5cm程度の浅耕をして覆土した。 約90日間栽培後、フレールモアで刈り 倒してから、ロータリ耕によって土壌 にすき込んだ。すき込んだベッチに含 まれている養分は、10a当たりに窒素 (N) が12.6kg、リン酸 (P₂O₅) が4.2 kg、カリ (K_2O) が12.5kg含まれていた。

すき込み後10~14日の腐熟期間を経 て、キャベツを定植した。キャベツの 可販物収量は、堆肥無施用で化学肥料 を30%減らした減肥区でも、慣行栽培 と同等であった。また、上乗区では慣

表 キャベツの収量と形態

ほ場	X	全重量	調整重2)	球径	球高	可販収量
は物	<u> </u>	(kg/m²)	(kg/個)	(cm)	(cm)	(kg/m²)
A1)	慣行	8. 53	1.66	19. 4	13. 4	5. 83
	減肥	7. 85	1.52	18. 8	13. 1	5. 36
	上乗 A	9. 57	1.92	20. 8	14. 4*	6. 77
B 1 1)	慣行	10. 96	1. 90	22. 3	14. 1	6. 71
	減肥	11.93	2.06	22. 7	14. 7	7. 28
	上乗 B	11.90	2. 07	22. 5	14. 6	7. 31
B21)	慣行	8. 89	1.74	21.5	14. 3	5. 73
	減肥	11. 15*	2. 11	23. 8**	15. 6*	6. 97
	ト乗 B	10.82	2 10	23 8**	15 9**	6.92

注1)調査は収穫始め、A=18年11月16日、B1=18年11月12日、B2=19年10月30日に実施した。

注2) 調整重は外葉を1.5枚に調整した重さ。注3) 記号は、慣行に対して*:5%、**:1%水準で有意差あり (Dunnett)

A(西目):グライ低地土(転換2年目)、品種「あさしお」、栽植密度3.5株/㎡、定植18年7月26日、収穫始11月 16日、慣行施肥=牛ふん堆肥2kg/㎡+化肥(N-P₂O₅-K₂O)=27.8-20.6-27.8g/㎡(速効性肥料の

B1 (にかほ):灰色低地土(転換2年目)、品種「金剛」、栽植密度3.5株/㎡、定植18年8月7日、収穫始11月12 日、慣行施肥=牛ふん堆肥 2 kg/㎡+化肥(N-P₂O₅-K₂O)=26.6-6.4-13.6g/㎡ (基肥は被覆尿素

(LP40と LPS60) を50%含む) B2(にかほ): 灰色低地土(転換2年目)、品種「金剛」、栽植密度3.3株/㎡、定植19年8月7日、収穫始10月30 日、慣行施肥=B1 ほ場と同一

行栽培よりも約10%増加した(表)。

緑肥の導入によって掛かり増しとな る費用は、10 a 当たりで緑肥種子が 3000円、フレールモアが2240円(価格約 78万円、導入面積 5 ha、耐用年数 7 年 とした減価償却費)、燃料費が475円で、 合計5715円となっている。

10 a 当たりの経済性をみると、30% 減肥では、化学肥料の費用など1万613 円が削減され、差し引きして4898円の 所得増となる。また、緑肥+化学肥料 慣行量施肥では、堆肥の費用5000円が 削減されるのみであるが、可販物収量 増加分の3万8160円が収入増となり、 3万7712円の所得増効果が見込める。

2020年(令和2年)6月15日

同栽培法の詳細については、秋田県 ホームページまたは農研機構発行の 「緑肥利用マニュアルー土づくりと減 肥を目指して一」(20年3月)を参照 のこと。

龘 秋ニンジン収穫量約2割増 19年産、天候で春減少・夏秋増加

農水省はこのほど、「19年産指定野 菜(春野菜、夏秋野菜等)の作付面積、 収穫量及び出荷量」を公表した。前年 産に比べて、夏秋野菜は3%増加とな ったものの、春野菜は1%減少した。

春野菜

作付面積は600ha (2%)減少して3 万5300ha、収穫量は2万9000 t (1%) 減の192万9000 t、出荷量は2万7000 t (1%)減の178万9000 t となった。特 に収穫量の伸び率が大きい品目をみる と、春夏ニンジンと春ネギがともに 4%増でトップ。次いで、冬春ピーマ ンが3%増などとなっている。

春夏ニンジンは暖冬により生育が良 好だったため、10a当たり収量が5%

図 秋ニンジンの作付面積、収穫量及び出荷量の推移 (100ha) 120 収穫量 100 18.3 80 16.1 55.3 出荷量 5 14.2 府面積) 40 20

増の3900kg。また、春ネギは千葉県で 低温により作柄の悪かった前年産より も生育が良好だったため、5%増の 2370kgとなった。

収穫量の減少率が大きい品目では、 春キャベツで5%減、冬春キュウリで 3%減などとなっている。

夏秋野菜

作付面積は700ha (1%)減少して6 万3500ha、収穫量は5万9000 t (3%) 増の233万5000 t、出荷量は6万3000 t (3%) 増の204万 t となった。特に収 穫量の伸び率が大きい品目をみると、 秋ニンジンが21万 t で18%増とトップ (図)。次いで、夏ダイコンが8%増 などとなっている。

秋ニンジンは北海道及び青森県でお おむね天候に恵まれ生育が良好となっ たため、10a当たり収量が18%上回り 3910kg。また、夏ダイコンは北海道で 7月下旬から8月上旬の高温・多照に より肥大が良好だったため、7%上回 り4280kgとなった。

収穫量が減少した品目は、夏秋レタ スと夏秋ナスのみで、それぞれ2%減、 1%減。これらの品目以外は増加また は前年同率だった。

農具使用後、消毒・洗浄を 生鮮野菜の衛生管理

野菜の栽培から出荷までの過程で問 題が生じれば、食中毒を起こす有害微 生物に汚染される恐れがある。

生で食べる野菜では、洗浄や消毒で 微生物を完全に除くことはできず、生 産段階でも衛生管理により、「付けな い」「増やさない」ことが必要。農水省の 「生鮮野菜を衛生的に保つために」から 重要事項を改めて確認しておきたい。

○収穫する野菜に直接触れるハサミ やナイフなどの農具は、使ったその日 のうちに洗い、必要に応じて消毒剤(消 毒用アルコールなど) で消毒する。野 菜に直接触れない農具や農機も、高圧 辺を定期的に点検する。 洗浄機などを用いて、水道水など飲用 に適した水で汚れを取り除く。

繰り返し使われるコンテナなどの収 する水または水質検査で安全性を確 穫容器は定期的に洗う。また、容器は 認した水、消毒した水を使う。 地面に直接触れないようシートを敷

収穫物は、直射日光が当たらない、 できるだけ涼しい場所に置く。野鳥や ータオルで手を拭く。

野生動物のふんで汚れたものは、他 の収穫物と混ぜずに廃棄する。

○ほ場または栽培施設では、排水 溝を設け、大雨時に汚水が流れ込む のを防ぐとともに、速やかに排水で きるよう努める。

野生動物だけでなく犬や猫などの ペットも、有害微生物を持っている 可能性があるので入れないようにす る。使わない機材や野菜残さなどの 廃棄物は放置せず、ネズミやハエな どを引き付けない場所で保管・処理

○かん水や散布する薬剤の希釈な どに使う水は、にごりや異臭がない ことを確認する。汚染防止のため、 水源・水路・バルブ及びそれらの周

収穫部位に対して、収穫前にかん 水や薬剤散布をする場合、飲用に適

○農作業前や堆肥を扱った後は必 き、容器の中にも敷物を入れて使う。 ず石けんで手洗いをする。タオルの 使い回しはせず、使い捨てのペーパ

現場での安全対策に

農研機構の事故事例検索

農研機構は、効果的に農作業安全対 策を実現するための2つのサポートツ ールの提供をウェブ上で開始した。

農作業事故を減らすためには、操作 ミスなどの人的要因だけでなく、「機 械・用具等」「作業環境」「作業・管 理方法」の各要因に対して具体的な改 善を図る必要がある。同機構は、 る注意喚起に留まらないように、現場 ごとに問題点の改善を図るため同ツー ルを開発した。

①農作業事故事例検索システム

実際に起きた事故事例を検索できる というもの。北海道農作業安全運動推 全目標の作成を促すことが狙い。 進本部と連携し詳細な現地調査を行っ た上で、「人」「機械・用具等」、「作 業環境」「作業・管理方法」から原因

や改善策を分析している。

作目別の事故一覧から事故形態や機 械用具名称で絞り込み、該当する事故 報告をみることができる。自身の生産 現場に潜在する類似の原因に気付き、 事故の防止に役立てることが可能。

②対話型農作業安全研修ツール

農業法人や生産部会などの小集団を 対象にした研修会を効果的に行うため のもの。生産者への事前調査票(アン ケート)や、事前調査票の各項目への 対応などをまとめた資料が提供されて いる。

生産者自身でヒヤリハット経験を事 前に調査票に記入し、研修で参加者と 研修担当者間とで安全対策のアイデア を出し合うことで、自発的な農作業安

いずれも同機構が管理するウェブサ イト「農作業安全情報センター」から 利用することができる。

茨城県畜産センター

點型 配合 3 割代替、飼料費約 1 割減 粉砕籾米・トウフ粕サイレージ給与

輸入配合飼料は価格が不安定であ り、国産飼料の利用によるコスト低減 が求められる。

茨城県畜産センターは、約2mmに粉 砕した未乾燥籾米とトウフ粕サイレー ジを混合した「籾米・トウフ粕サイレ ージ」の有効な調製法を確認。乳用育 成牛へ給与したところ、発育や健康状 態に影響なく、飼料コスト低減が期待 できることが示唆された。

実用的規模のサイレージ調製試験

処理区は、籾米100%を水分調整して 乳酸菌を添加した A 区、籾米にトウフ 粕25%及び乳酸菌を添加し混合したB 区、籾米にトウフ粕サイレージを25% 混合したC区、籾米にトウフ粕50%及 び乳酸菌を添加し混合した D 区の4 区とした。

各区を60L容量の漬物たるに30kg

ずつ詰めて調製。屋内倉庫(約20~ 28℃)で71日間貯蔵後に開封し、発酵 品質を分析した。

その結果、C区は、A区よりもpH が有意に低く、乳酸及び酢酸濃度が高 かった(表1)。さらに C 区では、た るの上部と下部で pH や乳酸濃度に大 きな差が無く、表面へのカビ発生が確 認されなかった。そのため、C区の調 製方法が有効だと考えられた。

乳用育成牛への給与試験

配合飼料の重量比30%を籾米・トウ フ粕サイレージで代替した試験区(17 頭)を設け、発育などを対照区(17頭) と比較した。期間は、離乳(約2ヵ月 齢)~離乳後15週間(約6ヵ月齢)と

同サイレージは、調製後の含水率が 約30%になるよう、籾米とトウフ粕サ

表1 実用的規模サイレージの発酵品質

サイロ		X	乳酸菌	рН		乳酸 (%)		酢酸 (%)		プロピオ ン酸(%)		酪酸 (%)	大腸菌 (logCFU/g)	カビ生菌 (logCFU/g)
	籾米 100%		添加	4. 44	а	0. 92	а	0.80	а	ND	а	ND	ND	ND
上部	豆腐粕 25%		添加	4. 51	а	1.00	а	0. 11	b	ND	а	ND	4. 70	1. 23
上即	豆腐粕サイレージ 25%		不添加	3. 93	b	1.56	b	1. 91	С	0. 21	b	ND	ND	ND
	豆腐粕 50%	D	添加	4. 27		1.34		0. 95		0.05		ND	1. 35	2. 50
	籾米 100%	Α	添加	3. 97	а	1. 59	а	0. 21	а	ND	а	ND	ND	ND
内下部	豆腐粕 25%	В	添加	4. 03	а	1.59	а	0. 31	b	ND	а	ND	ND	ND
사기 나라	豆腐粕サイレージ 25%	С	不添加	3.85	b	1.74	b	1.84	С	0. 24	b	ND	1.00	ND
	豆腐粕 50%	D	添加	3.89		2. 11		0. 55		ND		ND	ND	ND

1日增体重

(kg/日)

値は平均を表示,同列の異符号間に有意差あり,ND:不検出,CFU:コロニー形成単位,全試験区 n= 3

イレージの重量割合を8:2と 表2 各試験区における1日増体重、飼料摂取量及び飼料効率 した。60L 容量の漬物たるに、90 Lのポリエチレン製の袋を二重 対照区 にして、内側の袋の中に撹拌し た同サイレージをたるのフチ下

10cm程度まで詰め込んだ。その上に脱 酸素剤と防腐剤を置き、ビニール紐で 内側と外側のポリエチレン袋をそれぞ れねじるようにして密封。漬物たるに フタをし、直射日光の当たらない場所 で約2ヵ月間常温保存した後、開封し て給与した。

試験区は、1日増体重、飼料摂取量 及び飼料効率に対照区と有意差が認め られず、同等の発育を示すことが示唆 された(表2)。ふん性状にも有意差 はみられなかった。

2.79 0.21 表1、2ともに茨城県畜産センターの資料より

(6)

飼料効率

0.23

飼料単価は、配合飼料が74.3円/kg であるのに対し、籾米・トウフ粕サイ レージが52.4円/kg と安価で、飼料コ ストの低減が期待された。試験期間中 の飼料費は約1割低減できた。

同調製法では、トウフ粕サイレージ を副資材として利用しており、水や乳 酸菌を添加せず発酵を進めることがで きる。同センターは、一般的な飼料用 米と同様に給与可能で、6ヵ月齢以降 から成牛になるまでの間も配合飼料を -部代替して給与可能と考えている。

19年度養豚農業実態調査 農業共済加入率、半数以下 「加入方法など分かりやすく」の声

(一社) 日本養豚協会はこのほど、

「19年度養豚農業実態調査」の結果を 公表した。全国756経営体(19年8月1 日時点)の回答を集計したもの。なお、 回答数は各項目で異なっている。

◇肉豚出荷状況と繁殖成績

年間の肉豚出荷頭数(回答:642経営 体) は合計559万4442頭で、1経営体当 たり平均8714.1頭(前年度調査比 11.1%増)。上物率(135経営体)は 49.1%で、地域別では「九州・沖縄」

が63.3%と最も高い。

肉豚の平均出荷日齢(586経営体)は 全国で184.0日(0.3日短縮)となった。 地域別では、「近畿」が206.2日と最も 長く、「北陸」が172.1日と最も短い。 1日平均増体量は620.7g(4.4%減)、 平均枝肉重量は75.0kg (0.3%減)で、 歩留まりに大きな変化はない。

繁殖成績(556経営体)は、哺乳開始 頭数が1腹当たり11.3頭(0.2頭増)、 離乳頭数は10.1頭(0.1頭増)、年間分 娩回数が2.2回(同数)となっており、 いずれもほぼ横ばい。

交配方法(618経営体)は、「自然交 配のみ」が33.1%、「人工授精 (AI) のみ」が43.5%、「AI と自然交配を併 用」が20.0%となっている。精液入手 方法(447経営体)は、「全て外部導入」 が49.7%と約半分を占め、「全て自家 採精」は31.8%だった。また、AIを行 わない理由として、「不要」「効率が 悪い」「コストが高い」などが挙がった。

◇農業共済について

加入状況(672経営体)は44.0%で、 半数以上が未加入(表)。加入しない 理由(323経営体・複数回答)は、「掛 金に対して支払額が見合わない」が 33.7%、「共済掛金が高い」が26.6%な どとなっている。共済の内容に希望す

ること(461経営体・同)として、「加 入方法、支払額の分かりやすさ」や「掛 金を低くする」などが多い。

◇事故・衛生対策

事故率低減のための取り組みでは (704経営体)、何らかの対策を実施し た割合は89.3%。具体的な方法(複数 回答)は、「ワクチネーションプログ ラムの適切な見直し・変更」が59.4% でトップ。次いで、「衛生ゾーンを明 確化し、長靴の履き替え・消毒を徹底」 が58.0%、「管理獣医師などによる定 期的指導を受ける」が51.8%と続いた。

重点的に実施している衛生管理方法 (691経営体) は、「各豚舎への消毒槽 の設置」79.6%、「車両消毒の徹底」 75.4%、「農場では専用の作業着に着 替える」66.6%が上位に挙がった。

農業共済の加入割合と加入していない理由

長未六月の加入引って加入していない。珪田													
	₹₹	農業共済に	農業共済に	加入していない理由(%)									
	経営 体数	加入している 計(%)	加入していない 計(%)	経営 体数	共済掛金が 高い	加入方法が わかりにくい	掛金に対して 支払額が見合わない	その他					
全国	672	44. 0	56. 0	323	26. 6	12. 7	33. 7	26. 9					
北海道・東北	174	38. 5	61.5	90	25. 6	16. 7	31. 1	26. 7					
関東	187	50. 8	49. 2	80	26. 3	11.3	31. 3	31. 3					
北陸	26	69. 2	30. 8	5	20. 0	0.0	20. 0	60. 0					
東海	55	43. 6	56. 4	29	24. 1	27. 6	24. 1	24. 1					
近畿	17	23. 5	76. 5	11	0. 0	9. 1	63. 6	27. 3					
中国・四国	47	38. 3	61.7	26	38. 5	3.8	38. 5	19. 2					
九州・沖縄	166	42. 2	57. 8	82	29. 3	8. 5	37. 8	24. 4					

(一社) 日本養豚協会の資料を一部改変

改正飼養衛生管理基準 7月から豚等で適用

改正後の飼養衛生管理基準(豚・イ ノシシ)が7月1日から適用される。 新設された事項で重要な点を抑えてお きたい。

①飼養衛生管理に関わるマニュアル 作成と従業員や関係者への周知徹底 (来年3月31日まで猶予期間)。

②衛生管理区域へ野生イノシシが侵 入しないよう、くぐり抜けを防止でき

るような防護柵などを設置。ネズミな どの隠れ場所を無くすため、防護柵周 囲の除草も行う(今年10月31日まで猶 予期間)。

③網目2㎝以下の防鳥ネットなどを 用いて、畜舎や関連施設への野鳥の侵 入を防止する。ネットの破損がないか も確認し、見つけ次第すぐに直す

④豚の排せつ物が付着した恐れのあ る物品を衛生管理区域外に持ち出す場 合には洗浄・消毒などを行わなければ ならない。

飼養衛生管理者の選任が必要 各都道府県へ6月中の登録を

改正された家畜伝染病法がまもなく 施行される。それにより、7月1日 から全ての家畜所有者を対象とし て、衛生管理区域ごとに「飼養衛生管 理者」1名の選任が義務付けられる。

飼養衛生管理者の業務は次の3 運送業者らが守っているかのチェッ う。守られていない場合には指導。

が豊富な者が望ましい。

飼養衛生管理の徹底のため、一部 ②各都道府県で開催される飼養衛生管 理に関する研修会への参加。他の従事 者へ研修内容の周知・教育。 ③国や都 道府県から共有される飼養衛生に関す る情報に即した対応。

各都道府県が定めている方法(FAX 飼養衛生管理者とは、衛生管理区 やメールなど)により、必要事項を今 域における飼養衛生管理の責任者の月中に報告する。これには連絡先の登 こと。経験や知識、管理指導の能力 録が必須。迅速かつ正確な周知を行う ため、原則として電子メールで情報共 有が行われる。本人の電子メールの利 つ。①飼養衛生管理基準を従事者や 用が難しい場合、家族や所属する生産 者団体の管理するメールアドレスを代 わりに登録しなければならない。

送風こまめに湿気・熱のこもり防ぐ

初夏から暑熱対策を

気象庁の3ヵ月予報では、今年も全 国的に平年より暑くなる可能性が高い とされている。また、今年は梅雨が長 い傾向のため、湿気や熱のこもりに十 分に注意した対策が求められる。

【湿気・熱気を取り除く】

梅雨の晴れ間や梅雨明け直後は、実 際の気温よりも牛の体感気温が高くな る。牛舎内の湿気の対策には、ふん尿 をこまめに牛舎から出し敷料を交換す ること、牛舎周囲を除草して風通しを 確保することなどが有効となる。

換気対策としては、天窓、地窓、側

面を開放し、換気扇や扇風機、ダクト で空気の流れを作り、牛舎内にたまっ た熱気を十分に追い出す。送風機に付 いたホコリやクモの巣を取り除き、風 力を回復させて稼働させることが重

そのほか、牛舎周りの片づけをして 風通しを良くするなどの対策が有効と なる。夜間にも換気を行うことで、日 中の温度上昇を抑える。

【新鮮な水・良質な飼料給与】

エネルギーの消費が増えるため、暑 熱時の肥育牛の飲水量は50L以上にも

なる。給水器の清掃をこまめに行い、 水槽のぬめりや水の腐敗に十分注意 し、常に新鮮な水が飲めるようにする。 必要な場合、給水管を太くすることも 有効。高温多湿は腐敗が進む大きな原 因となるため、水槽周りの飼料やふん 便はこまめに除去する。特に子牛は脱 水症状になりやすいため、1日2回飲 み水を交換し、肥育牛よりも水の汚れ に注意する。

飼料給与は涼しい時間に行い、給与 回数を増やす。嗜好性・消化性の良い 飼料を与える。濃厚飼料やサイレージ が腐敗しやすい時期のため、よく注意

また、ミネラル不足などに備え、鉱 塩などを常置する。ルーメンアシドー シスの予防に重曹などを与えるのも効 果がある。

【牛舎の温度・牛の様子に注目】

牛が快適に過ごせる気温は30℃が限 界のため、密飼いを避けて体感温度に 注意する。牛舎内には温度計を設置し 気温をチェックする。牛舎側面へ、よ しずや寒冷紗などの設置やつる性植物 などを植えて、日よけを行う。屋根へ 水をまいたり、消石灰、断熱塗料を塗 ることも効果的。

牛も人間同様、熱中症になりやすい。 体温が39℃前後から41℃以上に上昇し た場合にはすぐに対処する。行動やふ ん便などをよく観察し、呼吸が速い、 大量のよだれなどの異常がみられた場 合には、送風して体を冷やす・四肢か ら胸へと徐々に水をかけるなどの対策 を行う。状態が悪ければ獣医師の診察 を受ける。異常の早期発見・治療がで きるよう、毎日、個体観察を徹底する。

肉用牛「水質汚濁」22戸増加 19年畜産経営への苦情発生状況

農水省はこのほど、19年の「畜産経営 に起因する苦情発生状況」を公表した。 全体の発生戸数は1491戸で、前年か ら11戸増加した。苦情発生率(苦情発 生戸数: 飼養戸数)は2.0%で、17年か

ら同率が続いている。

畜種別で発生戸数の割合をみると、 乳用牛が26.1% (前年比1.4%減) で最 も多く、次いで豚26.0%(1.2が減)、 肉用牛23.5% (2.9が増) だった(表)。 上位3 畜種の順位は前年と変わってい ない。

発生内容別では、悪臭関連52.2%

(1.2%減) が最も多く、水質汚濁関連 20.6% (1.6%減)、害虫関連13.2% (1.0 が増) と続いた。

また、畜種別の発生率をみると、採 卵鶏10.3%(0.3 が増)、豚が9.0%(同 率)、ブロイラー3.6%(0.1 が増)の 順だった。飼養規模別にみると、ブロ イラー以外の畜種で規模が大きくなる ほど発生率が高まる傾向がみられた。

肉用牛では、発生戸数・発生率とも に、351戸(46戸増)・0.8%(0.2 5 増)と 上昇。内容は、水質汚濁関連が93戸(22 戸増)と最も大きく前年から増えた。

畜産経営に起因する苦情の畜種別・内容別発生戸数(19年) (単位:戸、(%))

					(TE-) ((70))
区 分	悪臭関連	水質汚濁関連	害虫関連	その他	合計
乳用牛	240 (26.4)	75 (20. 9)	50 (21.7)	87 (36. 0)	389 (26. 1)
肉用牛	192 (21.2)	93 (25. 9)	54 (23. 5)	65 (26. 9)	351 (23.5)
豚	273 (30.1)	130 (36. 2)	22 (9.6)	34 (14. 1)	388 (26.0)
採卵鶏	120 (13.2)	40 (11.1)	97 (42. 2)	14 (5.8)	218 (14.6)
ブロイラー	60 (6.6)	14 (3.9)	3 (1.3)	9 (3.7)	81 (5.4)
馬	3 (0.3)	2 (0.6)	3 (1.3)	1 (0.4)	8 (0.5)
その他	20 (2.2)	5 (1.4)	1 (0.3)	32 (13. 2)	56 (3.9)
合計	908 (100. 0)	359 (100. 0)	230 (100. 0)	242(100.0)	1, 491 (100. 0)
構成(%)	52. 2	20. 6	13. 2	13. 9	100. 0

注1:「悪臭関連」には、悪臭単独の苦情に加え、悪臭以外の苦情(水質汚濁、害虫発生等)を併発しているものも含む(その他の分類も同様)。 のため、各分類の戸数を合計した戸数と、 「合計」欄の戸数は一致しない。

☞≌№ 肉用牛ゲノミック評価、1万5千件超に 個別農家でも関心高まる

肉用牛の改良は様々な技術を用いて 進んでおり、関係者の関心が高まって いる。家畜改良事業団はこのほど、「肉 用牛のゲノミック評価(G評価)等の 19年度の実施状況について」を公表し た。

19年度の肉用牛のG評価実施件数 は、1万5357件(前年度比25.6%増)だ った。17年から増加が続いている。そ のうち、枝肉6形質の評価の件数は1 万3351件(9.2%増)だった。大規模経 営体からの大口のものを除くと、中・ 小規模からは39.2%増えており、肉質 改良に興味を持ち取り組む経営体が増 えていることがうかがえる。

19年10月にスタートした脂肪酸組成 (オレイン酸など)の評価は2006件。半 数以上は県などからの依頼だが、個別 農家とみられる依頼も多く、生産者の 注目が高まっているとみられる(図)。

肉用牛G評価の実施件数 15,000 2,006 12,500 10,000 7,500 13,351 5,000 9,715 2.500 ■ 枝肉形質G評価 ■ 脂肪酸組成G評価

G評価の前段階の肉用牛の SNP タ イピング(DNA の構成要素の一つ、 SNP を測定する技術。個体ごとの SNP の違いが能力・特徴・形質などに 関連することがある) のみの検査は 3054件で、89.8%増と大幅に増えてお り、他機関でのG評価実施数も増加し ているとみている。

薬剤の用量・用法守る 正しい消毒で感染症予防

新型コロナウイルス感染症は終息し ておらず、消毒は非常に重要となる。 牛でも各種の感染症の大流行のリスク は常にあるため、日々消毒・防疫対策を 徹底し予防に努めなければならない。

◆出入口の消毒を

畜舎への出入り口には消石灰を散布 して、石灰帯を作る。出荷・飼料トラ ックなど、出入りする関係車両のタイ ヤ周り、運転席マット、荷台などの消 毒確認を必ず行う。

◆消毒薬をよく点検する

消毒薬は放置しておくと効果が薄れ るため、必ず定期的に交換する。特に 農場・牛舎・事務所の入り口の踏み込み 消毒槽はこまめに確認する。消毒薬の 効果を薄めないよう、排せつ物が長靴 などに付いていないかも消毒前によく 確認する。また、他の薬剤と混ざって しまうと効果が薄れる。薬剤の用法・用 量を守り、正しく調整して消毒を行う。

◆石灰乳塗布も有効

生産性向上のため、衛生的な飼養環 境の維持・改善が重要。牛舎に石灰乳 を塗布して消毒することは、ほとんど の感染症の抑制に有効となる。石灰が 水と反応して強アルカリ性となる効果 に加えて、消毒殺菌のほか、皮膜を作 ることで壁などに潜む病原体を封じ込 める効果などが期待できる。年1~2 回、定期的に実施することで消毒効果 を保つことができる。

交雑種で増額続く 牛マルキン4月分

農畜産業振興機構はこのほど、20年 4月販売分の肉用牛肥育経営安定交付 金制度(牛マルキン)の補てん金単価 (概算払)を公表した。交雑種と乳用 種で補てんが行われる。新型コロナウ イルス感染症拡大の影響などにより販 売価格の低落が続いていることから、 交雑種は3ヵ月連続、乳用種は46ヵ月 連続の発動となった。

1頭当たりの補てん金単価は、交雑 種が14万4130.1円、乳用種が4万 8145.1円となった。前月に比べて交雑 種が2万7414.5円増額、乳用種が 6417.4円減額した。

注2:「その他」に分類される苦情の内容は、ふん尿の流出、騒音等である。

ゼンカイミート(株)工場直売再開 最善の衛生管理で牛肉提供

新型コロナウイルスの感染拡大は、 食肉流通に多大な影響をもたらしてい る。そのような中、熊本県錦町のゼン カイミート㈱が工場直売を再開したと の報を受け、羽田昭二社長に現況等を 聞いた。

 \Diamond \Diamond \Diamond

ゼンカイミート㈱は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、毎月最終土曜日に開催している工場直売を4月は中止いたしました。これは、口蹄疫の影響を考慮し中止した2010年5月以来で、10年ぶり2回目のこととなりました。

また、例年3月から受入れを実施していたバーベキューハウス(収容能力約200名)を活用したバーベキューの予約受付も3月から5月第3週まで中止しておりましたが、5月14日の熊本県を含む39県の緊急事態宣言の解除を受け、再開することといたしました。

熊本県の衛生対策に細心の注意を払い、人の分散を考え開店時間を1時間前倒しして5月30日(土)、工場直売の再開に臨みました。曇り模様ではありましたが、毎月楽しみにされていたお客様(近隣の生産者を含む)が大勢(レジ通過602)来場され、「入場制限



(店内人数の抑制)・マスク着用・手 指消毒・一定の間隔を保つ(写真左)」 等の多くの制約にもご理解いただき、 喜んで買物をしていただくことができ ました(写真右)。

ゼンカイミート㈱といたしましては、開拓組織の生産者の方々と共に歩んできており、今般の状況は非常に影響が大きく、日本のみならず全世界的に行動が制約されるという、まさに未曾有の出来事であり、国及び行政の支援はもとより、生産者・消費者・組織

・事業者が連携していくことが、この 難局を乗り越えていくことにつながる と思っています。

最後になりますが、当社では、職域 販売・通販・ふるさと納税返礼品等に よる販売を実施しております。これか らも衛生管理に最善を尽くし、生産者 が丹精込めて生産した安心・安全で美 味しい牛肉の提供に努めてまいりま す。何とぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせ・ご注文は、お気軽に TEL:0120-48-1117まで。

牛枝肉

梅雨時に出荷頭 数増の予測。相 場は弱基調か

5月の相場は、4日に新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が延長となり、飲食店等の営業自粛が継続したが、前月に比べ反発した。

【乳去勢】5月の東京市場乳牛去勢 B2の税込み平均枝肉単価(速報値、 以下同じ)は985円(前年同月比93%) となり、前月に比べ122円上げた。

農畜産業振興機構の需給予測による と、6月の乳用種の全国出荷頭数は2 万6400頭(105%)と、増加に転じると 見込んでいる。

【F₁去勢】5月の東京市場の交雑種 (F₁)去勢税込み平均枝肉単価は、B3 が1274円(前年同月比77%)、B2は 1136円(73%)となった。前月に比べ それぞれ85円、105円上げた。 同機構は6月の交雑種の全国出荷頭 数を1万8300頭(100%)と、前年並み を予測している。

【和去勢】5月の東京市場の和牛去 勢税込み平均枝肉単価は、A4が1833 円(前年同月比76%)、A3は1617円 (73%)となった。前月に比べそれぞ れ145円、102円上げた。A5も196円高 の2223円(82%)と上げに転じた。

同機構は6月の和牛の全国出荷頭数は3万7500頭(109%)と、引き続き前年同月を上回ると予測している。全品種の出荷頭数は8万3500頭(106%)と予測している。

一方、6月の輸入量は総量で4万 3600 t (92%) と予測。内訳は冷蔵品 が1万9700 t (92%)、冷凍品が2万 3900 t (92%) と見込んでいる。

緊急事態宣言は5月25日に全面解除 されたが、引き続き感染防止策が必要。

5月の子牛取引状況

(頭、kg、円)

									(25(1)	28, 13/	
	コック	品種	頭	数	重	量	1頭当た	こり金額	円/kg		
	コック	1111生	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	
		乳去	790	837	295	295	233, 850	222, 054	793	753	
北	海 道	F ₁ 去	877	1, 141		414, 335	1, 260	1, 295			
		和去	1, 218	1, 245	316	312	627, 537	660, 447	1, 986	2, 117	
		乳去	4	2	205	148	99, 000	67, 650	484	457	
東	北	F ₁ 去	_	7	_	314	-	308, 629	_	982	
		和去	2, 088	2,026	307	305	583, 996	616, 424	1, 903	2,021	
		乳去	48	61	276	277	252, 290	265, 027	915	955	
関	東	Fı去	81	133	312	304	409, 295	411, 946	1, 311	1, 356	
		和去	658	933	277	263	590, 315	618, 349	2, 134	が月 753 1, 295 2, 117 457 982 2, 021 955 1, 356 2, 352 	
		乳去	_	_	_	_	_	_	_		
北	陸	Fı去	_	_	_	_	_	_	_	_	
		和去	1	58	134	273	389, 400	648, 089	2, 508		
		乳去	14	14	293	288	237, 835	231, 314	811	802	
東	海	Fı去	50	52	301	296	341, 286	331, 543	1, 134	1, 121	
		和去	390	283	266	266	667, 158	675, 306	2, 508	2, 536	
		乳去	_	1	_	153	_	135, 300	_	884	
近	畿	Fı去	_	3	_	241	-	413, 966	_	1,718	
		和去	384	369	256	257	566, 591	576, 816	2, 213	2, 243	
		乳去	81	99	276	272	212, 965	194, 611	772	716	
中	四 国	Fı去	233	234	311	315	365, 870	374, 164	1, 178	1, 189	
		和去	410	998	290	289	601, 541	594, 968	2,073	2,060	
		乳去			310	-	232, 915	_	751		
九州	・沖縄	Fı去	77	316	302	314	373, 528	379, 430	1, 237	1, 208	
		和去	8, 041	7, 252	294	292	635, 725	669, 636	2, 163	2, 291	
		乳去	937	1,041	292	292	232, 473	221, 988	796	760	
全	玉	Fı去	1, 318	1,886	315	316	391, 153	400, 658	1, 242	1, 268	
		和去	13, 190	13, 164	295	292	622, 351	648, 809	2, 110	2, 222	

E: (独)農畜産業振興機構の公表データを基に本紙集計、当月は暫定値。 価格は消費税込み、重量・金額・単価は加重平均。- は上場がなかったことを示す。 関東ブロックは山梨県、長野県、静岡県を含む。 外出を控える動きや在宅勤務の広がり が予想される。牛肉の販路となる飲食 店やホテルなどの客数が元に戻るに は、時間がかかるとみられる。

外食需要の回復が期待されるが、梅 雨入りで荷動きが鈍くなる時期とな り、出荷頭数の増加予測からも、相場 は弱基調が見込まれる。

向こう1ヵ月の東京市場の税込み平均枝肉単価は、乳牛去勢B2が900~950円、F₁去勢B3が1200~1300円、B2は1050~1150円、和牛去勢A4が1700~1800円、A3は1550~1650円での相場展開か。

豚枝肉

出荷頭数・輸入 量減で、引き合 い強まるか

5月の東京食肉市場税込み平均枝肉 単価は、上物が630円(前年同月比 104%)、中物は600円(105%)となっ た。前月に比べそれぞれ19円、12円上 げた。家庭消費向け需要が堅調で、高 値の相場展開となった。

農水省の肉豚生産出荷予測によると、6月は125万7千頭(前年同月比



104%、過去5年同月平均 比98%)、7月は128万2 千頭(94%、100%)と平 年をやや下回ると見込ん でいる。

農畜産業振興機構の需給予測によると、6月の輸入量は総量で6万3500t(前年同月比83%)の見込み。内訳は冷蔵品が2万5600t(80%)、冷凍品が3万7900t(86%)。冷蔵品は、北米の現地工場の稼働停止に伴う生産

減少により、冷凍品は生産減少に加えて外食産業向けを中心とした荷動き鈍化のため、ともに前年同月を大きく下回ると予測している。

家庭消費向け需要の継続が見込まれる一方、出荷頭数は平年をやや下回り、輸入量は大きく減る予測。国産の引き合いが強まり、引き続き堅調な相場展開が予想される。

向こう1ヵ月の東京食肉市場税込み 平均枝肉単価は、上物が620~650円、 中物は570~600円での相場展開か。



枝肉弱基調で、 乳牛・和子牛と も弱もちあいか

【乳素牛】5月の乳素牛の全国1頭当たり税込み平均価格(左表、月末の取引結果を除く暫定値)は、乳去勢が23万2473円(前年同月比102%)、F₁去勢が39万1153円(78%)だった。前月に比べ乳去勢は1万485円上げ、F₁去勢は9505円下げた。

枝肉相場の短期的な回復は見込み難 く、素牛価格はもちあいから弱含みで 推移か。

【スモール】5月の全国23市場の1 頭当たり税込み平均価格(農畜産業振 興機構調べ、暫定値)は、乳雄が13万 300円 (前年同月比92%)、 F_1 (雄雌含む)は21万3958円 (66%)となった。前月に比べそれぞれ1万7894円、9619円上げた。乳雄は取引頭数が少なく、上伸した。

取引頭数で平均価格が上下すること が予想されるが、総じてもちあいの展開か。

【和子牛】5月の和子牛去勢の全国 1頭当たり税込み平均価格は、62万 2351円(前年同月比76%)となった。 前月に比べ2万6458円安と続落した。

梅雨入りで枝肉相場は弱基調が見込まれている。子牛導入の需要が弱まる時期でもあり、弱もちあいの展開が予想される。